



10月11日(木) 10:15~11:45

定員:300名

◇経済産業省とのコラボ企画

【G1-S05】超高齢社会先進国・日本が手掛ける介護・福祉イノベーション

～日本とアジア諸国の現状・課題とともに～

わが国は、世界に先駆けて超高齢社会に突入し、社会保障費の増加や、介護施設・人材の不足等の社会的な課題が現実となっており、それらの課題を解決し、国民の健康に対する多様なニーズに対応する新たなヘルスケア産業の継続的な創出と発展が必要となっています。

今後高齢化が進展する近隣アジア諸国の介護・福祉分野の現状と課題、課題解決に向けた取り組みについて、各国の有識者でショートプレゼンテーション及びパネルディスカッションを行って議論し、日本やアジア諸国で展開されている優れた研究開発、サービス開発を紹介します。

本セッションをとおり、超高齢社会対応に向けたユニークかつ効果的なヘルスケア産業が創出される基盤となるグローバルネットワークを、日本とアジア諸国の産官学とともに構築し、将来の世界の健康寿命延伸に貢献するような議論を展開します。

【日英同時通訳付】

- 日時：10月11日(木) 10:15~11:45
- 会場：特設会場G1(東8ホール内)
- 定員：300名(日本の企業関係者・福祉機器開発支援機関・団体等150名、海外の企業関係者等150名)
- 主な登壇者：香港社会服務聯会(The Hong Kong Council of Social Service)、ERIA(Economic Research Institute for ASEAN and East Asia)、タイ商工会議所保健衛生部、台北退役軍人病院老年医学センターの各関係者、井上 剛伸 氏(国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部長)、富原 早夏 氏(経済産業省 医療・福祉機器産業室長)[モデレーター]
- 企業コーディネーター：経済産業省 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室

H.C.R.2018 は、「Healthcare Innovation Weeks Asia-Japan 2018」に協力しています！

経済産業省は、国内外の投資家や企業等からのヘルスケアビジネス投資の活性化を目的とする国際会議として、10月9日に「1st Well Aging Society Summit Asia-Japan」を開催します。

同時期に、日本でヘルスケア関連イベントが多数開催されることから、相互に連携し、「Healthcare Innovation Weeks Asia-Japan 2018」という統一ブランドで、日本のプレゼンツについて対外的に効果的なPRを行います。

H.C.R.2018 もこれと協力しあうものとし、日本の介護・福祉イノベーションをアジア諸国に発信する上記セミナーを開催します！

10月12日(金) 13:30~15:00

定員:300名

◇福祉用具貸与制度等のタイムリーな動向

【G1-S08】福祉機器をめぐる二つの最新動向

～貸与制度はどう変わるか、介護ロボット等の施設活用をいかに進めるべきか～

少子高齢化が進むわが国において、福祉機器は障害者や高齢者の自立を支援し、介護者の負担を軽減するものとして、極めて有用なものです。



一方、障害者や高齢者、介護施設などにおける課題は近年複雑化・多様化し社会保障費の増加も懸念される中、介護保険については制度の確実な持続を図る施策の一つとして、福祉用具貸与価格の適正化が一層進められているところであります。また、介護施設などにおいては入所者の重度化が進むことで、職員の精神的・肉体的な負担は増加しており、現状の介護サービスを維持継続するためには、既存の福祉機器の有効活用、さらには政府が進めるロボット技術を活用した次世代型福祉機器を利活用した介護モデルの確立が急務となっています。

本講座では、こうした背景を踏まえ、福祉用具に関する調査研究および開発の推進や、福祉用具情報の収集および提供などを行う公益財団法人 テクノエイド協会から講師を招いて、現下の取り組み状況と進むべき方向性について解説します。

- 会場：特設会場G1(東8ホール内)
- 主な参加対象者：福祉施設職員・関係者など
- 講師：五島 清国 氏(公益財団法人 テクノエイド協会 企画部 部長)

※会場内にて各セミナーのレジユメなどを掲載した資料を有償頒布します！会場にてお求めください。

10月11日(木) 13:00~16:00

定員:280名

◇国際シンポジウム

【G1-Y01】仕事と育児・介護の両立支援～その現状と対策～

本シンポジウムでは、国をあげて先駆的な施策を展開しており、国民の意識も高いスウェーデンから講師を招いてその現状と展望を学ぶとともに、日本の課題についての議論を踏まえ、今後あるべき取り組みを考察します。

【日英同時通訳付・手話通訳付】

- 会場：特設会場 G1(東8ホール内)
- 登壇者：【シンポジスト】アニタ・ニーベルグ 氏(スウェーデン/ストックホルム大学 名誉教授)
池田 心豪 氏(独立行政法人 労働政策研究・研修機構 主任研究員)
【チューター】塚田 典子 氏(日本大学商学部 教授)
- 定員：280名(席に余裕がある場合には、当日受付を12:30~会場前で先着順にて行います)
- 参加対象者：該当テーマの課題に興味のある方
- 参加費：1,000円(税込・資料代込)

※H.C.R.セミナー・国際シンポジウムともに参加申し込みを受付中！

併催イベント情報ページ(<https://www.hcr.or.jp/seminar>)から事前登録してください。